

【誰もが「生きていてよかった」といえる街づくり】

ぽぽだより

No.157【HP版】

2015年6月25日発行

認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス



びっくり!!爆笑!! マジックショー

小泉のひろばに『びわこクローズアップ』マジックサークル『BICMAC』の橋井さんにお越しいただきました。おじいちゃん、おばあちゃんや子ども達も近くで見るマジックにびっくり!!たくさんの「笑顔」が溢れました。



橋井さん。楽しいマジック
ありがとう
ございました!

~ひろば高齢部 お出かけデー~

道の駅せせらぎの里こうら



トマトも新鮮で
みずみずしいです。

お土産
何にしようかな?

〈今月の中面〉

- ハピネスひこねの取り組み
- 輝くぽぽの仲間
- おいもの苗植え

7月のお出かけ外食は7月10日(金)~16日(木)(平日のみ)にかけてビバシティ彦根の「秀月」にてお食事会を計画しています。お楽しみに!!

発行 認定特定非営利活動法人

NPO ぽぽハウス

発行責任者 山脇 吟子
住所 〒522-0043 彦根市小泉町 300-9
サロトビルⅡ 2F



TEL (0749)27-9777
FAX (0749)27-9888
E-mail popohouse@nifty.com
HP <http://www.popo-house.jp/>

彦根市家庭教育支援事業 すくすく教室・のびのび教室 はじまりました。



今年度も戸外あそび・音楽・運動・食生活・子どものケアなど毎回のテーマを決めて、親子ともに五感を育みながら子育てを楽しんでもらいたいと思います。初めての子育ての参加者も、2人目、3人目の子育ての参加者も『家でやってみよう!』と何か持ち帰っていただけるとうれしいです。月に1度の講座ですが、参加者同士がつながって、不安や悩みを気軽に話せたり、講座終了後もつながって子育てを助け合う仲間になってもらえるような講座にしていきたいです。(酒井)



ヨガ教室 PART8参加者募集

心もからだもしなやかに!!

開催日 7月 9日(木) いずれも 13:30~(1時間程度)
8月 27日(木) 持ち物: タオル、ヨガマット、飲料(水分補給用)
9月 10日(木) 会費: 1,500円(一括前払い) 定員: 15名
場所: 「はばたき」平田町 105-7 *定員になり次第、締め切らせて頂きます。
※詳しくは事務局までお問い合わせください。(Tel 27-9777)



まちなかシアター

6月16日「第2回まちなかシアター」

をNPOぽぽハウス「はばたき」2階の多目的室にて開催しました。今回は「劇場版タイムスクープハンター」で様々な時代にタイムトラベルして任務を果たすというドキドキハラハラの内容でした。



次回は子どもさんも参加できるような内容の映画を予定していますので、是非皆様お誘いあわせの上ご家族でご参加下さい。(NPO活動部 黒田)

彦根市北老人福祉センター（ハピネスひこね）の取り組み



高齢者も子どもも
みんな！おいでよ！！



「市民がつくる市民のための施設」を理念に指定管理を開始して早や 10 年目。利用者様がご自宅で咲いたお花を届けてくださり、館内はいつも季節の花々で彩られています。イベントでは会場設営や進行にも積極的にに関わり、施設を共に運営している姿勢を見せてください。

市内在住の 60 歳以上の方なら誰でもいつでも自由に利用できるため常連利用者の方も多く、フロアで顔馴染みの方とのおしゃべりや将棋などを楽しみながら、思いおもいにゆったりと過ごされています。



市内に 3 つある老人福祉センター（北、中、南）で唯一、異世代交流のスペースも併設されているという特色を生かし、毎日一定時間にラジオ体操を行うなど、親子と高齢者が自然にふれあえるよう、工夫しています。

誰もが生き生きと輝ける、地域に根ざした居場所になるように、利用者の皆さんと共にスタッフ一同、笑顔をたいせつに活動しています。（館長 成松）

みんなでお芋、いっぱい植えたよ！！

毎年恒例のはばたき子ども達・ひろば子ども達による芋の苗植え。子ども達は一生懸命に取り組み、

成長する姿がみられました。



今年も、子ども達とさつま芋の苗植えをする季節がやってきました。毎年、会員の方のご厚意により、さつま芋畑を提供していただいています。

今年は例年とは違い、30 cm程の木の棒を使いながら土の中に苗を植える方法を教えて下さり、みんな悪戦苦闘しながらも楽しんで約 100 株の苗を植えることができました。その後、近くの川から水をバケツに汲んでの水やりで自然の恵みに気付くことも一つの体験となりました。「大きくなーれ。」と水をやり、秋の収穫が今から待ち遠しいです。（はばたき 織田）



認定特定非営利活動法人NPOぼぼハウス 第 15 回通常総会が 5 月 24 日(日)に彦根市北老人福祉センターにて開催されました。

総会前にはNPOぼぼハウスの活動に陰ながらご尽力頂いている方々の代表に『輝くぼぼの仲間』として感謝状を贈呈させて頂きました。



受賞された皆さんから一言！

【松本 富様より】

「ボランティア」って？調べてみました。ボランティアとは Volunteer「(義勇兵の意) 志願者。奉仕者。自ら進んで社会事業などに無償で参加する人」(広辞苑より) のように載っているんですね。意識はあまりしてませんが、退職後は地域社会へのお返しがしたいとは思っていました。民生委員、介護相談員と経験させていただき、2009 年 11 月には傾聴ボランティアを仲間と共に立ち上げ、活動しています。活動を通してたくさんの方との出会いが私達の財産になっています。新聞記事の中にあつた「楽しくなければ集まらない。真面目でなければ続かない」を合言葉にしています。聴く事は人間関係を作る基礎です。会話のよしあしを決めるのも実は話し方ではなく、聴き方なのです。感謝状をいただきありがとうございました。

【松浦 佳子様より】

定年退職後、私のこれからの余生は何をするべきかと考えていた時、孫達との同居を機に、四十年も前の子育て時代を思い出しながら、昔と今では子育てにも違いがあるのではないかと、とりあえず「子育て養成講座」を受け、新たな気持ちで子ども達と接すべく、ぼぼハウスを訪れ、ハピネスでの子育て支援参加となりました。四十年振りの、乳幼児との関わりに戸惑う事もありますが、子育てママさんの微力になればと毎日楽しく過ごさせて頂いて元気を貰っている私です。今回の感謝状にはこちらこそ、サポーターとして感謝したい気持ちでいっぱいです。

【山田 孝義様より】

この度は思いがけない賞をいただいて、正直ビックリしています。私自身皆さんに喜んでいただけるだけで十分でしたが、総会で「輝くぼぼの仲間たち」に選ばれて、一層身が引きしまる思いです。今後もご利用者様や職員の皆さんに喜んでいただける様輝き続けてまいります。

子どもたちが楽しみにしているさつまいもの苗植え・掘り？「今日はいもの苗植えに畑に行きま〜す。」小学一年生も加わっての活動です。いつも畑を提供して下さるおじさんから植え方を教えてもらい、「さあできるかな？さすが〜！」「ぼくの棒は？」等、棒を土に差し込み穴を開けて、一本一本丁寧にいも苗植えをする姿が見られました。水やりをしながら「たくさんがいもができるといいね！」...子どもたちが楽しみながら取り組めてよかったです。（ひろば児童 藤田）



久木さんいろいろとありがとうございました。